

2022年6月1日

令和3年度 NPO 法人有機農業参入促進協議会事業報告書

有機農業参入促進協議会事務局

概要

- 有参協主催のイベントは、ほぼ予定どおり開催した。
- 当協議会の情報発信媒体であるポータルサイト「有機農業はじめよう！」に、1か月平均で2万人弱のユーザーが10万弱のページを訪れるようになった。
- 4月から継続してセミナー、講座などを開催し、有参協通信を不定期で配信した。
- セミナーのリピーターも多数あり、賛助会員も増加した。

事業実施内容

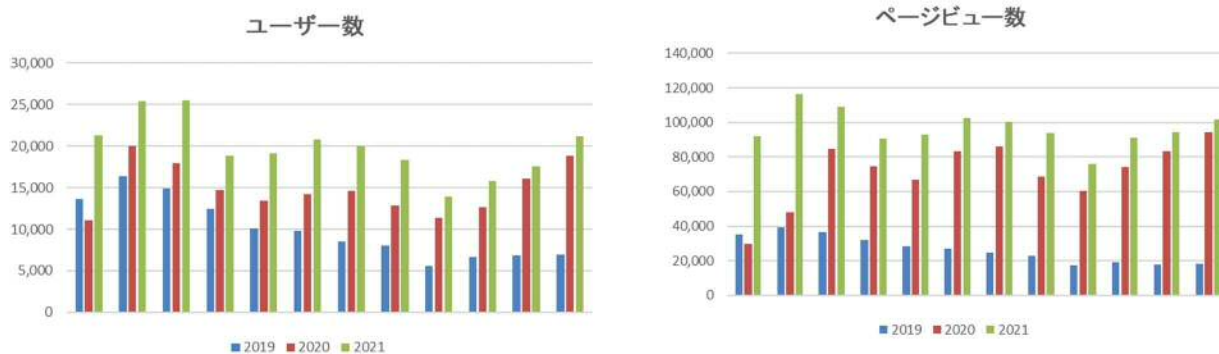
1) 有機農業への新規及び転換参入の促進

◇ポータルサイトおよびフェイスブックの活用

ポータルサイト「有機農業はじめよう！」の掲載内容を逐次更新し、申し込みを受けた研修受入先の情報を整理し、160件を登録公表し、経営指標のページに有機農業経営指標537事例を公開している。研修受入先は、新規登録申込があるが取り消しもあるため、現状維持に留まっている。

4月より3月までの平均では、1か月に19,824名（昨年同期間の1.34倍）のユーザーが96,756ページ（同1.36倍）を訪れ、昨年度に比べ大幅に増加した。4月より継続的にセミナーを実施していること、有参協通信の発行などが影響していると考えられる。機器別アクセス数では、スマホが61.1%、パソコンが34.5%、タブレットが4.4%で、スマホの割合が昨年同期間（56.2%）より増加し、パソコン（同37.8%）およびタブレット（同6.0%）の割合が減少した。

また、フェイスブックのフォロワー数が2,182名（昨年同期1,814名）に増加した。



◇オンライン「有機農業をはじめよう！新規就農者向け相談会」の開催

1月12日、2月23日、3月12日の3回に、計7名の相談に3名の理事（千葉、岸根、白

土) が相談に応じた。

◇有参協通信の配信(不定期)

第 1 号 (7 月 12 日)、第 2 号 (8 月 16 日)、第 3 号 (10 月 1 日)、第 4 号 (11 月 2 日)、第 5 号 (11 月 24 日)、第 6 号 (12 月 27 日)、第 7 号 (1 月 17 日)、第 8 号 (2 月 14 日)、第 9 号 (3 月 1 日)、第 10 号 (3 月 29 日) を、有参協会員、都道府県有機農業担当、相談窓口、研修先なっていたいただいている方々、公開セミナー、講習会に参加した方々など約 750 箇所に配信した。

通信などで賛助会員を募集したところ、個人会員 24 名、団体会員 5 名の応募があった。

2) 有機農業技術の体系化

◇有機農業への参入を促進するための講習会・講座

4 月 17 日 第 20 回公開セミナー「有機柑橘栽培を考える」(オンライン)。59 名参加。

8 月 5 日 第 21 回公開セミナー「土づくりと新規就農への道を考える」(オンライン)
151 名参加

8 月 26-27 日 有機農業研究者会議 2021 (長野県飯田市およびオンライン) 中日本農研、
日本有機農業学会との共催。担当事務局は、日本有機農業学会。220 名参加

9 月 24 日 第 21 回公開セミナー聴き逃し講座 (オンライン)。講師：染谷孝氏。17 名
参加

10 月 29-31 日 有機農業実践講座～秋冬野菜の有機栽培&セミナー(神奈川県平塚市および
オンライン) 2 泊 3 日。セミナーに 52 名、講座に 34 名参加。

11 月 11 日 第 22 回公開セミナー「農産物の魅力を伝える」(オンライン) 講師：西村理
事。40 名参加。

12 月 21 日 第 19 回公開セミナー聴き逃し講座 (オンライン)。講師：澤村輝彦氏。34
名参加。

2 月 10、17、24 日 有機農業講座「堆肥づくり・土づくり」(オンライン) 講師：橋本理事。
パブリックビューイング会場 3 会場を含め、約 100 名視聴。

3 月 18 日 第 23 回公開セミナー「美しくおいしい有機野菜を生産・販売するために」
(オンライン) 講師：岸根理事。23 名参加。

3) 有機農業の生産・流通・消費に関する調査研究

◇ウェブサイトに公表している資料の整理

4) 補助事業等の受託事業

◇NTT 西日本の柑橘農家圃場の土壌および果実の分析に協力

西日本を中心に、有機農業推進団体の協力を得て有機農業で栽培している 98 サンプル(土壌と果実)を採取し分析した。分析結果は 5 月ごろ公表される予定。

事業は、西日本電信電話株式会社、国立研究開発法人理化学研究所、国立大学法人福島大学、国立大学法人北海道大学、国立大学法人東京大学大学院農学生命科学研究科、株式会社前川総合研究所、地方独立行政法人大阪府立環境農林水産総合研究所、国立大学法人筑波大学の 8 組織による「ネイチャーポジティブな環境再生型農業の実現に向けて農業のデジタルツイ

ンに関するオープンイノベーションでの共同研究～果樹の土壌微生物叢に着目した農業生態系の解明～」として位置付けられている。

5) 理事会、定時総会の開催

- 5月27日 臨時理事会 (Web会議)
- 6月21日 第21回理事会、定時総会 (Web会議)
- 7月14日 役員懇談会 (Web会議)
- 8月18日 役員懇談会 (Web会議)
- 9月15日 役員懇談会 (Web会議)
- 10月20日 第22回理事会 (Web会議)
- 11月10日 役員懇談会 (Web会議)
- 12月15日 役員懇談会 (Web会議)
- 1月19日 役員懇談会 (Web会議)
- 2月16日 役員懇談会 (Web会議)
- 3月16日 第23回理事会 (Web会議)

6) 有機農業の推進に取り組む自治体、民間団体への協力

有機農業関連団体のイベントのHPでの紹介など。

9月18日の「プレ日本オーガニック会議」に日本オーガニック会議設立準備会事務局のメンバーとして参加。有参協として日本オーガニック会議の活動に賛同した。

7) 会員 (6月1日現在)

正会員 (個人) 役員 15名 : 石川 晃、岸根 正明、木嶋 利男、工藤 彰治、桑村 友章、佐伯 昌彦、白土 卓志、千葉 康伸、鶴田 志郎、西村 有加、西村 和雄、橋本 力男、藤田 正雄、山本 政義

正会員 (団体) 9 団体 : イオントップバリュ(株)商品開発本部、MOA 自然農法文化事業団、自然農法国際開発研究センター、次代の農と食をつくる会、秀明自然農法ネットワーク、鶴田有機農園、株式会社ビオ・マーケット、兵庫県有機農業研究会、株式会社マルタ

賛助会員 (団体) 6 団体 : 株式会社 EM 研究所、株式会社矢野農園、合同会社ハスカップカンパニー、株式会社オーガニック nico、特定非営利活動法人アグリやさと、河野農園

賛助会員 (個人) 24 名 : 池町 祐美、中井 俊寿、竹岡 俊介、福島さやか、田中 淳志、松本 悠莉奈、佐々木 大輔、福田 美智子、手代木 昌宏、上村 慎二、片上 光利、井上 正昭、前川 茂、百本 哲也、深澤 諭、富岡 文明、園田 太嘉雄、木佐森 優美、工藤 秀明、五島 隆久、小田島 まゆみ、石田 俊文、鈴木 隆夫、荒井 純平

以上